

第七感 運命を変える 不思議な力

～かつて人は誰もが「気」の力を持っていた～ さだじい 普遊舎

私が持つ不思議な力、第七感と呼んでいる“気”の力については今迄の常識では考えられないもの、でもかつての人間は誰もが第七感を持っていた、この力に気付けばあなたも「運命は自分の手で変えることが出来る」のです。

(はじめに)

第七感“気”の力を借りることが出来ればあなたの潜在的な能力も開花する。
～初めまして私は「さだじい」呼ばれる気功師です、ある時私は突然に不思議なこの「気功」のような「“気”の力」に目覚めてしまいました人間には五感（視・聴・味・臭・触）に加えて第6感（直感など）がありますが、どれにも当てはまらない「第七感」を皆さんの為に使わせていただいています。特に高校野球やプロ野球の選手から依頼が多く沢山の選手に教えてきました。2014年夏甲子園大会では出場校40の内8校は私が“気”を教え・施術で関わったチームです（2015年春の選抜では甲子園出場の5チーム）

更にプロ野球団ドラフト指名でも私が施術したり“気”を教えた選手が毎回8～10名選ばれています。この第七感の主体が分かって誰もが使える事で自らの中に眠っている潜在的な能力を開花させ健康で幸せな人生を送っていただく事が出来ますように心から祈っています。

第1章 私はこうして“気”の力を手に入れた

- *ある日私に舞い降りた不思議な力～事件は私が29歳で寿司店を開業し39歳の時に起きた～ササキという薬品メーカーの営業マンで私の苦手なタイプで私が女性客から頂いたビールのジョッキを持ち上げて「いただきます乾杯！」と呼びかけ私が右手をかざすしぐさを見せた瞬間にジョッキを持つ手が鉛のようにズシンと重くなりドンドン下に下に腰の当り迄下がりササキさんが更に私に手をかざした瞬間に電気のような衝動が頭を走り去り私は思わず膝を床に就きジョッキをまな板の横に置いてしまった、10秒位も体が動きません、何が起きたのかサッパリ分かりません、女性客の方を見ると頭からプワーと湯気のようなもの俗にいうオーラが見え「何だ？なんだ？」と何度も目をこすりました、その日以来私にもササキさんと同じ様な不思議な「力」が芽生えた
- *その力は遊びに使ってはいけない！～ある時私の店に日南学園高校野球部の監督小川茂仁さんが来られ常連さんの一人が「大将いつものを見せてよ」と、気の遊びのリクエストをして、見せると小川監督が渋い顔で「その力は遊ぶ為のものではなく人を治す為に授かったものなんだよ」と、そして「お前明日からうちのグラウンドにきて部員のけがを治す訓練をきなさい」と、

今思うと本当にありがたい話です。

- * 手から電流が流れるようなショックが～ある日、日南学園野球部の川嶋克弥キャプテンが練習で足を痛めて私のところにやってきて足首に向けて両手で足首を包み込むように手をかざし左手から気を流し右手で受けるスタイルを始めてやってみると私の手に電気ショックのようなピリピリが流れる感じ、川崎君もびっくり、ケガの改善にぐんぐん効果が現れた、私の評判を聞きつけて2014年施術した西武ライオンズの赤田選手の膝の痛みが軽くなってからは他のプロ野球選手もどんどん集まるようになった。
- * 負ぶわれてきた人が自分で歩いて帰る～50歳男性・糖尿病で足も殆ど壊死に近く自力では歩けない人に20分位“気”を当て続け、水を飲んで少し休んでもらっていたら「大将・ありがとうね・歩けるよ」と。
- * 延岡で始まった施術に連日人が押し寄せる～知り合いの紹介で延岡少年野球の監督さんが息子さんを連れてきた、有名な整体師2人に見てもらったが痛みと肘が曲がらないまま～ダメもとで私が施術したら痛みも取れ肘もちゃんと曲がるようになった、それから延岡の人が沢山やってきた、又休みを利用して週2日間は延岡に行き最高2日で102人も施術の為にやってきた。
- * 野球の現役スターK選手が治った！ ～ 当時阪神のスタメンK選手は右肩の棘上筋が断裂し成績が低迷、毎日のように肩の施術を受け翌年にはかなり肩の状態が回復した。
- * 店をたたんで施術の旅に～転機になった岡山理科大学付属高校の早川監督との出会い、彼は元々整体の勉強をしていてチベットまでも遠征した熱血漢で“気”に造詣が深かった、右肩を脱臼した生徒が包帯で吊っていたので“気”を当てて施術したらどんどん素振りができるようになり早川監督がスッカリ私の力を信頼してくれ「こんなにすごい人がいる」と、メールで大学関係者に一斉送信、そこから火がついて全国の野球チームから依頼が来る様になった

第2章 “気”とは何か？

- * “気”を出している時の状態～左手から出て右手で受ける、左手の人差し指・中指・薬指の3本の指先や根元あたりから出る“気”を右手の3本の同じ指先や根元で受けるラインをつくる、患者をラインの中で照射している状態となります、送り続けると「スポット抜ける瞬間湯気のようなものが悪い個所から立ち上がってくる、この抜ける霧が多い人の方が症状の重い印象を受ける」“気”を当て続けるとスポット抜ける様な感じがすると状態が改善している。
- * 突発性難聴という人に最初耳の中に届くように“気”を送っていたが手応えがなく、あちこち探していたら顎関節あたりに違和感があり耳の後ろの筋肉にゆっくり“気”を当て柔らかくほぐしていたら良くなった、難聴の人は耳ではなく顎の関節に目を付けます。

* 医者も驚く奇跡が次々と！

～ある女性の顔面マヒで顔の半分が垂れ下がり病院に行っても治らなかったがたった1回の施術で元通りの顔に戻った、翌日病院に行ったら医師から「私に内緒で整形手術を受けるんだったらもう来ないでくれ」と、怒られたそうです「気功で治ったんです」と云ったら「そんなことはあり得ない」と言われた。

* ある男性は免疫不全で大学病院に通っていて髪の毛が抜けてツルツルになってしまい私の所へ来た、頭皮と白血球を作り出す頸椎と甲状腺系に強く“気”を出して1ヶ月後にはうっすらと毛が生え何度か施術、今ではすっかり毛が生えてぼうぼうの状態です。

～子宮がんの人が4回の施術でキレイになくなったり脳卒中で半身不随の人がスワットできる程に回復し「有難いけれど障害者手帳がもらえなくなっちゃうよ」と、泣き笑いされたことも。

第3章 “気”はラッキーを連れてくる！

* 言霊と“気”の力が試合をひっくり返す～“気”の授業は先ず空気中にキラキラ浮遊している“気”を見つけて自分の手に集める方法を教え“気”を集めると集中力が高まり、その状態で目を閉じて自分が甲子園で活躍している姿をイメージしてもらい、そして最後に皆で声を合わせて「甲子園大会出場・優勝ありがとうございました！」と叫びます、言霊とはよく言ったもので、叫んでいる時に風がフワッと巻き起こり、見ているこちらが倒れそうになります。皆の心が一つになる・これが最高のパフォーマンスに結びついていると思う。

* 補欠選手がヒットを打ち始めて止まらない！～鳥取のある高校の補欠選手は“気”の授業を受け急に關心を示し、良く打てるように“気”を入れてあげたところヒットを量産し始めて何と打率7割だそうです！彼もそうですが“気”を知って自分で扱えるようになった選手は口をそろえて「ボールが止まって見える」と言い正に「ゾーン」の状態です。

ゾーンとは最高にパフォーマンスを発揮し無私の境地に達した時の状態です。ゾーンに入ると今迄の自分の限界を突破する様な凄い力が出せます。

* 最近各地に行くと「運気を上げてほしい」という人も来るようになりました山口県岩国の岡田さんは保険の代理店業を営んでいて“気”を良くして欲しいと言われ取り敢えず頭に“気”を当てたのですが、その後非常に売り上げを伸ばして県下NO1の売り上げになった。あるお花屋さんは資金繰りが苦しくて倒産ギリギリの状態でしたが“気”を受けて3日後に大きな葬式が入り息を吹き返した、又新しくできる道の駅に小売場スペースを開店、又これが大当たり年間売り上げがプラス1億円に達する勢いで私も嬉しくなりました。

同じ岩国で車のタイヤを開業している人が来て商売繁盛の“気”を受け1ヶ月後に中国地方に未曾有の大雪が降りスノータイヤやチェーンが

爆発的に売れ大儲けできた。

- * “気”を大切に作る姿勢が謙虚さにつながる～ラッキーになる為には先ず“気”を沢山取り込み逃がさないように意識する事が大切ですその為には「有難い」という謙虚な姿勢を持つことです“気”はラッキーという衣を纏っていて人の周りを飛んでいる、と私は思います。金はきれいに謙虚に使わなければなりません、その謙虚な姿勢が次のラッキーチャンスをもたらしてきます“気”が人を試しているとはそういう事です。私はカネ儲けを全く考えていません。

第4章 「誰にでもできる“気”の出し方・使い方」

- * “気”の授業の目的～“気”を知り使い方を覚えれば集中力が高まりスポーツならゾーンに入り球が止まって見え関節と筋肉が柔らかくなりケガが少なくなります。最近増えている「運氣アップ」や「商売繁盛」の施術依頼は正に“気”がビジネスや人生にも使える事を証明しているのだと思います。

- * 実際に“気”を見てみよう

- ①手のひらを上に向け顔の位置に腕の力を抜いてリラックス
- ②なるべく遠くの空を見つめる・次に手に視線を近づける
- ③手の平の少し上の空間を見る空をスクリーンにするつもりで手の平の空間を眺めるとより見えやすくなる
- ④キラキラ光った小さな粒が見えるようになれば“気”です

“気”を集めてみよう～手の平に“気”を集める、更に“気”の密度を濃くしてゆきますますと、いろんなことが出来るようになります。

- * 言霊を使って望みを叶えよう～“気”を集めて集中して叶えたい状態を強くイメージする！言葉に出して言ってみると目標を達成しやすくなる。
- * 朝起き抜けが一番“気”を集めやすい～朝起きてすぐは一番充実して遠く迄も“気”を飛ばせます。
- * 先ず悪いところに“気”をあててみよう～無意識でやった方がよく効きます。手の平がもやもやして“気”の状態を感じたなら左手から“気”を出し右手が受ける方です、慣れたら左手の指先でピンポイントとして痛むところを探る。
- * 患部と脳はセットになっている～頭の後から前の方に向けて“気”を流し脳を中心アタリをほぐします、その後に患部の悪いところに“気”を当てます。
- * 子供にはお母さんが手を当ててあげるだけで楽になる、勿論、病院に行くのが大前提です、私は併用が一番だと思っています。おヘソの所へ右手をかざし、左手を首の付け根 7 番目の頸椎（手で触るとポコんと出たあたり）を狙って“気”を当てると免疫力が付く。悪性リンパ腫で病院に入っていた子供さんの為にお母さんに“気”の当て方を教え、お母さんは毎日病院でやっていたところ医師が驚く程早く回復して今は元気に学校に通っているそうです。
- * “気”を覚えて不思議な能力が開花した、やまもっちゃん

～建設作業員で7m程の作業場から落ち顔面を切り右顔面の神経が切れ、目を閉じることが出来なくなり私の所へ何回か通ううちに目を閉じることが出来るようになった、それ以降は会場に手弁当で手伝い朝から晩まで私の“気”を浴び、その内に私の手の内のキラキラが見える様になったと言出し第七感が開花“気”のやり方を教えて上げ、今では私の弟子といった存在です。

*予知能力が芽生えたイツキちゃんという女子大生は少し先の未来が分かるようで予言が良く当たり殆ど外す事がないそうです。

第5章 あの世と繋がったミュキちゃんの話

*1年間全く動かなかった足が動いた～鳥取に住んでいて私との出会いで大きな学びを与えてくれました「あの世との交信ができる」という思いがけない能力が開花、私は「あの世」について教えてもらっています。

ミュキちゃんは2012年6月頃左足に麻痺が出て松葉杖なしでは歩けない状態で大学病院にも見放され精神的にも追い詰められて過呼吸で意識を失い連日救急車を呼ぶ状態で私が早速施術した所、別人の様な笑顔となった、その後も施術して少しずつ回復し松葉杖なしで歩ける様になる迄回復した、今では体育の授業が受けられるまでに回復した。

～亡くなった大叔父さんからメッセージが届く～ミュキちゃんの大叔父さんは末期ガンで私には痛みを和らげてあげる事しかできず2013年末には亡くなりある時からミュキちゃんに亡くなったシンイチさんの声が届くようになった、私を紹介した事で末期がんの痛みが和らいだことに感謝「ありがとう！ミュキお礼にミュキの体の治し方をこちらの世界で聞いてみた3日後にはリハビリと気功で必ず治る」と言われた、私とシンイチさんしか知らない事をミュキちゃんの口からシンイチさんのメッセージとして告げられたので本当に亡くなったシンイチさんのメッセージだと確信した

～あの世には天国も地獄もなかった～シンイチさんから教えてもらったことですが人生をキチンと全うした人は「そのままあの世でも楽しみ、肉体的な痛みや苦しきもなく快適です、悪い事をした人は子供の姿に戻されしょっちゅう叱られいろんな楽しみを分かりません」と、何だか救われる気がしますね。

第6章 “気”でビジネスや人生を変えよう

*気まぐれなラッキーを掴むコツ～成功している企業の経営者や幸せな人生を掴み取っている人は“気”の流れがスムーズでいつも新鮮な“気”が流れています“気”は明るく素直な人にやって来る・私に各地で会場を提供して下さっている方々は皆さん明るくて前向きな人生を楽しんでいます、いつも感謝の気持ちをお忘れず傲慢にならず“気”の存在を意識していれば“気”のパワーが強くなり幸運がやってきます、そして望む人生に近づきます。

*難病のこの足が動いた！～その人のお子さんは生まれ乍らの

二分脊椎症で先天的に背骨に異常があり下半身麻痺、医師の見立てでは歩行困難と、お母さんの話では私が“気”を背骨に当てると僅かに足が動いたと、それから毎月連れてこられて3ヶ月で膝立ちハイハイが出来る様になり1年後には支えがあれば自分で立てるようになり医師には不思議がられています。

第7章 与えられしものの使命

私はこの力でお金儲けしよう等と考えたことはなく家族が何とか食べられて、私自身は1日の終わりにビールが飲めればそれが至福の時です。

* 運気が落ちたり・嫌な気分がするときどうするか

施術を希望する人から負のエネルギーを貰って吐いたり、頭痛、ひどい下痢が起こり、それでもあえて挑戦していくと「あれ！」と能力がアップする転換点が訪れる、負のエネルギーの中には霊的なものがある場合があり咳が出たり寒気がするときもあり、そういう時は“気”を集めて、目イッパイその人の中に入れてしまいます、するとその人の背中あたりからフワッと霞みのようなものが出てくることがある、もし自分が霊的なものに取りつかれたと感じたら沢山の人と会って自分の名前を呼んでもらい太陽の光を浴びながら“気”を集め体内に取り入れて下さい、そうすると霊的なものは離れていきます。

* ルーマニアに住む人に遠隔ヒーリングを実施～人の形に切り抜いた白い紙の型式を創り、その人の悪い個所を型式に印をつけて塗りつぶし“気”を集中的に当てます。ルーマニアのお母さんは肺が悪いという事でその部分に朱で印をつけ早朝に“気”を送ったところすぐに反応があり4日で退院できたらしく、その後も型式を通して“気”を送っていて、とても調子がいいそうです。

(おわりに)

現代医学と“気”の両立を願って～現代医学と私の“気”の様な第七感の力を使い分けて欲しい、お医者さんの云う事をしっかり聞いて、その上で“気”の力を使って頂きたいものです。